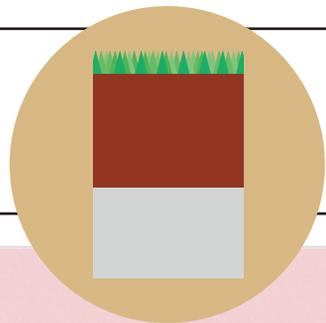


D 有機物集積厚型



特徴

- ・ 土壌断面の表層に暗い色の層がある。
- ・ 暗い色の層の厚さは8cm以上である。

解説

タイプC『有機物集積表層型』がさらに進行し有機物層が厚みを増したケースです。

長年にわたる更新作業の不足から、サッチ・有機物が過剰に集積している状況です。

土壌過湿や排水不良を引き起こし、夏場のベントグラスの衰退、雑草・藻類の侵入、病害発生に繋がる恐れがあります。



対策

現在よりも更新作業の回数や面積率を増やし、集積した有機物を除去する必要があります。特に有機物層が厚いため、深くまでコアリングで取り除くことが重要です。コアリング後の穴にはしっかりと目砂を充填し、砂柱を形成することで土壌環境改善の効果を持続させることができます。

もちろん、新たな有機物の堆積を防ぐには、浅いコアリングやバーチカルカットも有効です。更新作業後には十分な目砂散布と擦り込み作業を行い、有機物濃度を薄めることが重要です。

また、土壌が酸欠状態になりやすいため、毎月ベンティング（スライシング、スパイクング、ムク刈など）を行い、根に酸素を供給するとよいでしょう。有機物の軽減にはサッチ分解剤の利用も有効ですが、梅雨から夏にかけて土壌有機物が急激に分解すると、窒素の暴発によってベントグラスの夏越しに悪影響を及ぼすおそれがあるため、サッチ分解剤の種類と使用時期には注意が必要です。

